



ココナツのからを割る子どもたち！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さんの御支援、いつもありがとうございます。

私がこの原稿を執筆しているのは5月ですが、6月になりますと、定例の総会が持たれます。総会の中では、毎回、昨年度の活動報告がなされますが、その際、私たちの活動を支えてくださっている皆さんの御支援の大きさには、感謝せずにはいられません。子どもたちの成長も早いもので、みな元気に大きくなっています。これらの働きは、本当に皆さんの御支援あってのものです。でもやはり、成長すれば、色々と必要が大きくなります。しかし、このところ、カンボジア、ザンビア、フィリピンなど各孤児院へ送金が厳しいのが正直なところです。また、今後の事業の必要もあります。それ故、是非皆さんに御協力をお願い致したく、今この原稿を執筆しております。ただ、皆さんの御支援によって、確かに子供たちのいのちが支えられていることと、子供たちも、皆さんの御支援によって支えられていることを知って感謝していることを御報告しつつ、末筆ですが、これからも、御支援・サポート、どうかよろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。5月に入って、雨の日が少しずつ多くなり、先日は夕方から大雨となって、下水溝から出て来たゴキブリ退治や雨水の勢いで水道パイプが落ちて壊れてしまいました。庭の方も水はけが悪くなってあっという間に洪水状態になるなど、それぞれ子ども達も一緒に役割分担して対応する事が出来ました。この時も、子ども達が思っている以上に、いろいろ出



皆でバドミントンをしています！

来るようになってきている事がわかって嬉しく思いました。子どもの1人が、感染症に感染している事がわかり継続した医療対応を取っています。他の子どもたちへの感染に関しては、大丈夫でしょうと言われていますが、完全な回復を祈っています。また、突然起こる出来事や状況に対応できるように、毎月の運営費の増額の必要性を感じているところです。皆様にこのような状況をご理解頂きまして、ご支援とご協力をさらに頂ければ幸いです。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。2013年から2014年の学年の登録が始まりました。礎の石孤児院パートナーの皆様のおかげによって、フィリピン孤児院の子どもたちは学校へ通うことが出来、学ぶことが出来ています。今年も新しい学年に向けて、学用品、制服、靴などが必要です。特に体が成長している子どもたちには新しい制服を買わなければなりません。また授業料、教科書代などがかかります。是非このためにもご支援をお願い致します。また毎月の運営費のためにもサポートをお願い致します。子どもたちの月謝、学校への交通費のために、また学校や地域の活動に参加するための必要もあります。私たちは世界中に



いる孤児たち、助けを必要としている子どもたち、厳しい環境にある子どもたちに助けの手を伸ばしていきたいという熱い思いをもって活動しています。しかしそのビジョンの実現は、皆様のご協力、経済的なご支援無しには出来ません。是非さらなるご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

日本からのプレゼントを受け取る子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。



5月の中旬から、首都ルサカで生活するマリア、フィデリス、テリースの新学期が始まっています。すでに2学期に入っていますが、マリアの今年度の学費の残金2万5千円（5万円は支払うことができました。感謝いたします）と、フィデリス、テリースの二人分の高校進学のための年間費用14万8千（内、入学支度金2万円）が満たされておらず、このふたりは自宅待機となっています。テリースは将来、電気技師となるための勉強をしたいという希望を持ち、フィデリスは法律の道に進みたいと希望しています。どうか、このこどもたちの将来が閉ざされてしまうことのないように、緊急のお願いとして、皆様のお力添えをお願い致したく存じます。

おどけるフィデリスとテリース！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。こちらはすっかり秋の空になり、涼しいというよりは寒いと感じる日々もあります。先日は孤児院の所有地があるグアララパスへ行ってきました。ブラジルでは土地に関しては、所有権よりも居住権のほうが法律で保護されています。それを悪用して他人の土地に勝手に入り込み、所有者が気が付いた時には立ち退かすことができないというニュースをよく聞きます。そのような問題が起きないように、近所のアンドレさんに牛を放し飼いにしてもらい、毎日見てもらっています。孤児院の土地へは徒歩ではアクセスしにくい場所にあるためアンドレさんに車で連れて行っていただきました。



アンドレさんには娘さんと息子さんがいて、しばらくぶりに会ったら、二人ともずいぶん成長していました。息子さんは小さくて、絵本を一緒に読んでいる時に机の下で足をからませてきたり、甘えん坊という感じでしたが、体格もよくなって身長も伸び、受け答えもしっかりしてきていました。娘さんはお姉さんらしくなり、私にコーヒーをふるまってくれました。以前二人に日本語を少し教えていたことがあったのですが、それもムダにはならなかったなとうれしく思いました。

自宅での松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>